

# 2023年度 新潟大学歯学部同窓会学術講演会

ハイブリッド  
開催

## 変遷が進むう蝕治療とAI時代の歯内療法

新潟大学大学院医歯学総合研究科 口腔健康科学講座う蝕学分野

野村由一郎 教授



### ご略歴

1989年 徳島大学歯学部 卒業  
1989年 徳島大学歯学部附属病院助手 保存科  
1996年 大阪大学歯学部助手 歯科保存学講座  
1998年 大阪大学博士(歯学)  
2008年 大阪大学歯学部附属病院講師 保存科  
2012年 大阪大学大学院歯学研究科准教授  
2016年 新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔健康科学講座齲蝕学分野教授  
現在に至る

### 所属学会

International Association for Dental Research、日本抗加齢学会評議員  
日本歯科保存学会理事  
日本バイオフィルム学会理事  
その他多数

接着修復が確立し、う蝕治療と言えば、Drill & Fillが定着して固定概念化するとともに、接着修復を基にMIの概念が導入された。他方で、日本生活習慣病協会のホームページの図表から、近年う蝕という疾患名が削除された。くちの2大疾患：う蝕と歯周病は生活習慣病であるにもかかわらず。このような背景の元、世界ではACFF(Alliance for cavity free future)が旗揚げし、日本では2020年歯科保存学会と歯科衛生士会が“う蝕予防管理の認定歯科衛生士制度”を共同設立し、新大病院歯科では2022年8月に“う蝕予防管理システム”の運用が始まった。本講演の前半では『早期発見・早期治療』から『早期発見・長期管理』へ変遷が進むう蝕治療の概要をお話します。

後半では、1. Modern Endodonticsの実際(臨床・研究・教育)、2. AI時代の最新歯内療法・治療機器についてお話する予定です。歯内療法の臨床に技術革新3種の神器と称される①歯科用実体顕微鏡(マイクロスコープ)、②Ni-Tiロータリーファイル、③コーンビームCTが積極的に導入され、早20年近くが経過した。症例を通してそれらの功績を再認識するとともに、長年歯内療法学のネックであった治療原則『無菌的処置』の意義：根管治療による除菌率と治療の成功率の関係を最新機器を用いた動物実験により検索した研究を概説する。また、新時代の歯内療法として、①第3次再生医療対象治療、②高周波根尖療法等の現状についてもご紹介したい。

### 会場 & ライブ配信

新潟大学歯学部講堂 または Web参加  
2023年4月23日(日)  
9:00~10:30  
【申込締切 4月16日(日)】

### 見逃し配信

2023年5月8日(月)  
~28日(日)  
【申込締切 5月1日(月)】

定員

会場 60名 ライブ配信 100名

※制限人数以後の方は  
見逃し配信のみとなり  
ます。

### 受講料

※参加費の振込先はメールでお送りします。  
※受講料はクレジットカード決済が可能です。

同窓会会員 および  
歯科医師・医師以外の職種

無 料

同窓会会員以外の  
歯科医師・医師

4,000円

### 申込方法

二次元コードから  
お申込みください



同窓会HPのTOPページへ  
移動しますので、下方ヘスク  
ロールし、該当するセミナー  
を押して下さい。

二次元コードが読み取れない場合、  
同窓会ホームページよりお申し込み下さい。

<https://al-dent-niigata-u.jp>

※日本歯科医師会会員の先生方は、日本歯科医師会生涯研修事業の単位を取得できます。  
【お問い合わせ先】同窓会事務局 Tel 025-229-4166 / gakujuutsu@al-dent-niigata-u.jp